

# 保険会社からの診療抑制の実態

アメリカの医師の現状

## アメリカの医師の数

アメリカの医師の数は約76万人（1997年）。そのうち約16万人がアメリカ以外の大学を卒業している。現役の者だけに限れば男性医師53万人、女性医師16万人で、外国の大学を卒業している医師が増加していることと、女性医師が増加していることが特徴的である。

現役医師のうち、公務員（連邦職員）が約1・9万人、それ以外の者が67万人である。67万人の内訳は診療所勤務46万人、病院勤務15万人、その他となっている。診療所勤務46万人の構成は、一般・家庭医6・2万人、消化器内科医8・1万人、小児科医3・7万人、産婦人科医3万人、呼吸器科医2・8万人、麻酔科医2・6万人、精神科医2・4万人、整形外科医1・9万人、心血管科医1・5万人、放射線科医1・4万人、救急科医1・3万人、病理医1万人、その他である。

アメリカの医学教育の教育年限は4年であり、一般の大学を卒業してから入学する。医科大学は現在125校（1997年）で、1997年の卒業生は約1・6万人である。

大学卒業と同時に医師資格は取得するが、すぐには診療できない。卒業、研修医（レジデント）としての研修を続けた後、試験に合格する必要がある。研修期間は専攻によって異なり、州によっても異なっている。

マサチューセッツ州の医師の数は約2万4600人。人口10万人対402人で、全米各州の中でも最高である。ボストンは、世界的に有名な病院が集まっている都市でもある。ちなみに、全米平均では医師の数は10万人対245人である。

また、国民の年間医療費支出は1841ドル（1997年）で、医療費の家計に占める割合は5・3%。その内訳は保険料881ドル（47・9%）、医療費負担531ドル（28・8%）、薬剤・その他428ドル（23・2%）となっている。参考までに、年間医療費は、ヒスパニックで1167ドル、アフリカ系アメリカ人で1035ドルと、はるかに全平均を下回っている。

## マネジド・ケアとの契約医の増加

マネジド・ケアと契約する医師が増えているが、それはなぜだろうか。

- ① 医師が患者を確保する必要がでてきた。
- ② 医師が自分の収入を安定させる必要がでてきた。
- ③ 医師の身分の安定を図ることができる。

以上の3点が考えられるが、それぞれについて、考えてみたい。

①については、医師数の増加がその一因であることは明らかである。10万人あたりの医師数でみる限り、日本をはるかに上回っていることから、そのことはうかがい知れる。しかし、医師

\*1  
米国内に住むスペイン語圏  
（南米各国）からの移民のこと。

苦悩する



日本の開業医  
調査団がみた  
最新事情

アメリカ医療視察団 [著]

池内春樹  
池田信明  
井戸芳樹  
川崎美榮子  
高山一夫  
辻 孝範  
津田光夫  
馬場 淳  
村田安雄  
吉中丈志

# 市場原理の

Managed Care and the Health Care Crisis in the United States

# アメリカ医療

あけび書房

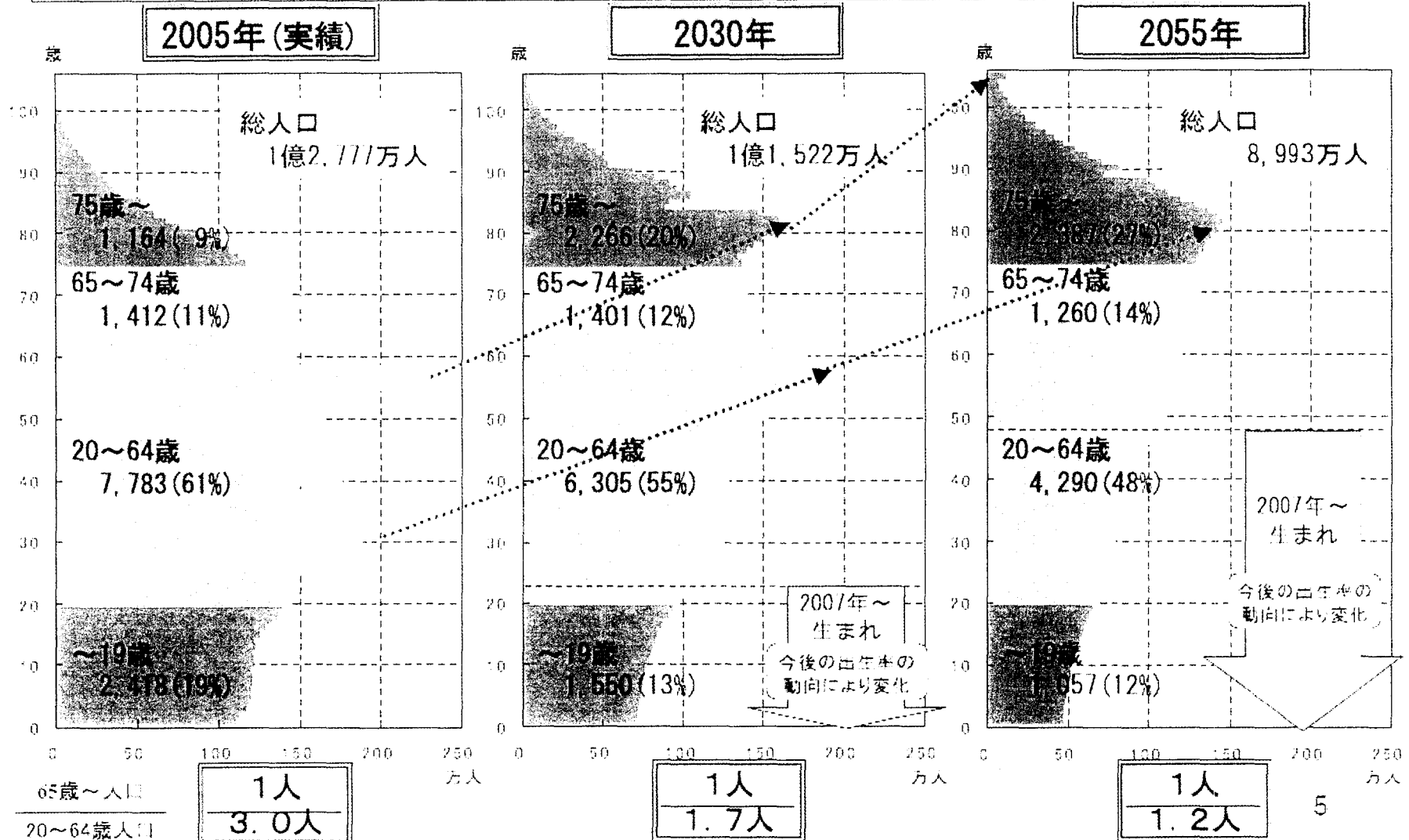
# 日米病院職員数の比較

(長崎大・高岡教授)

	ボストンSE病院 (300床)	日本S国立病院 (310床)
職員総数	2011人	200人
医師	371人	39人
看護師	620人	85人
看護助手	64人	15人
栄養士	120人	7人
レジデント	113人	0人
秘書	90人	0人
ハウスキーパー	75人	0人
患者運搬係	17人	0人
その他(事務等)	541人	54人

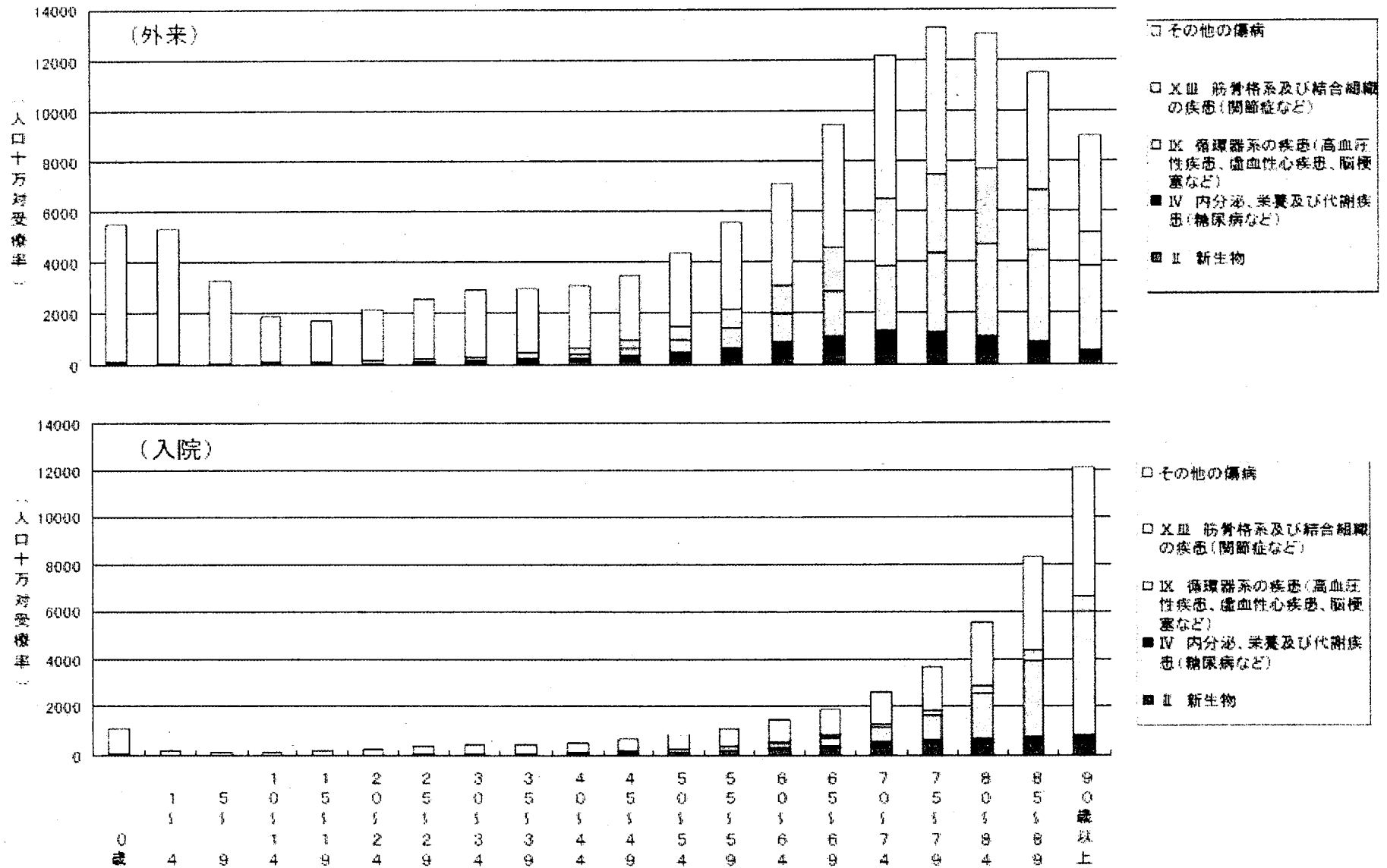
# 人口ピラミッドの変化(2005, 2030, 2055) - 平成18年中位推計 -

○我が国の人口構造の変化を見ると、現在1人の高齢者を3人で支えている社会構造になっており、少子高齢化が一層進行する2055年には1人の高齢者を1.2人で支える社会構造になると想定



注 2005年は国勢調査結果、年齢不詳部分を人口

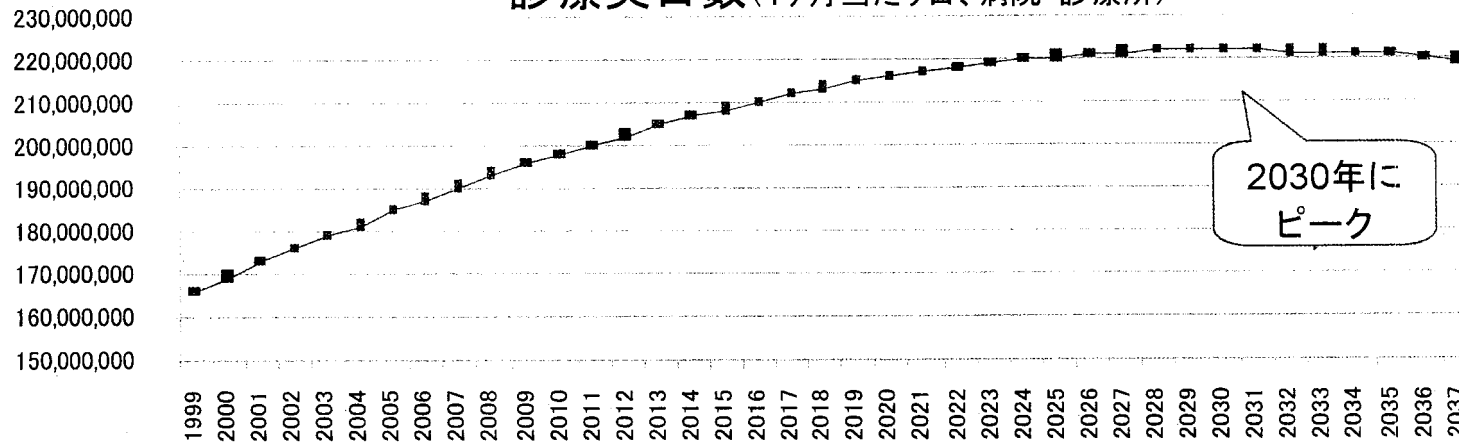
# 年齢階級別受療率



(注)「患者調査」(平成14年)により作成

# 高齢化とともに患者需要は増大する

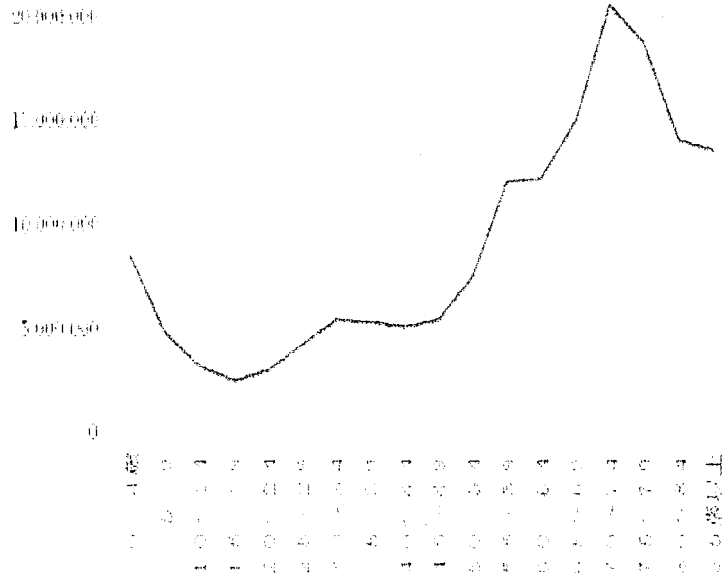
## 診療実日数(1ヶ月当たり日、病院・診療所)



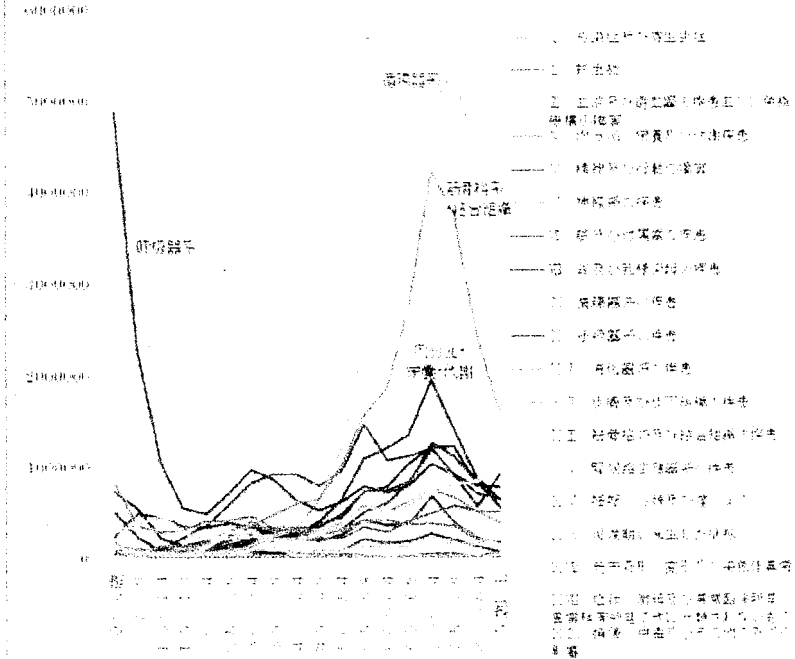
2030年に  
ピーク

※診療実日数:入院では当月中の入院日数、入院外では当月中の外来、往診等で医師の診療を受けた日数

平成18年 診療実日数(1ヶ月当たり診療を受けた日数)



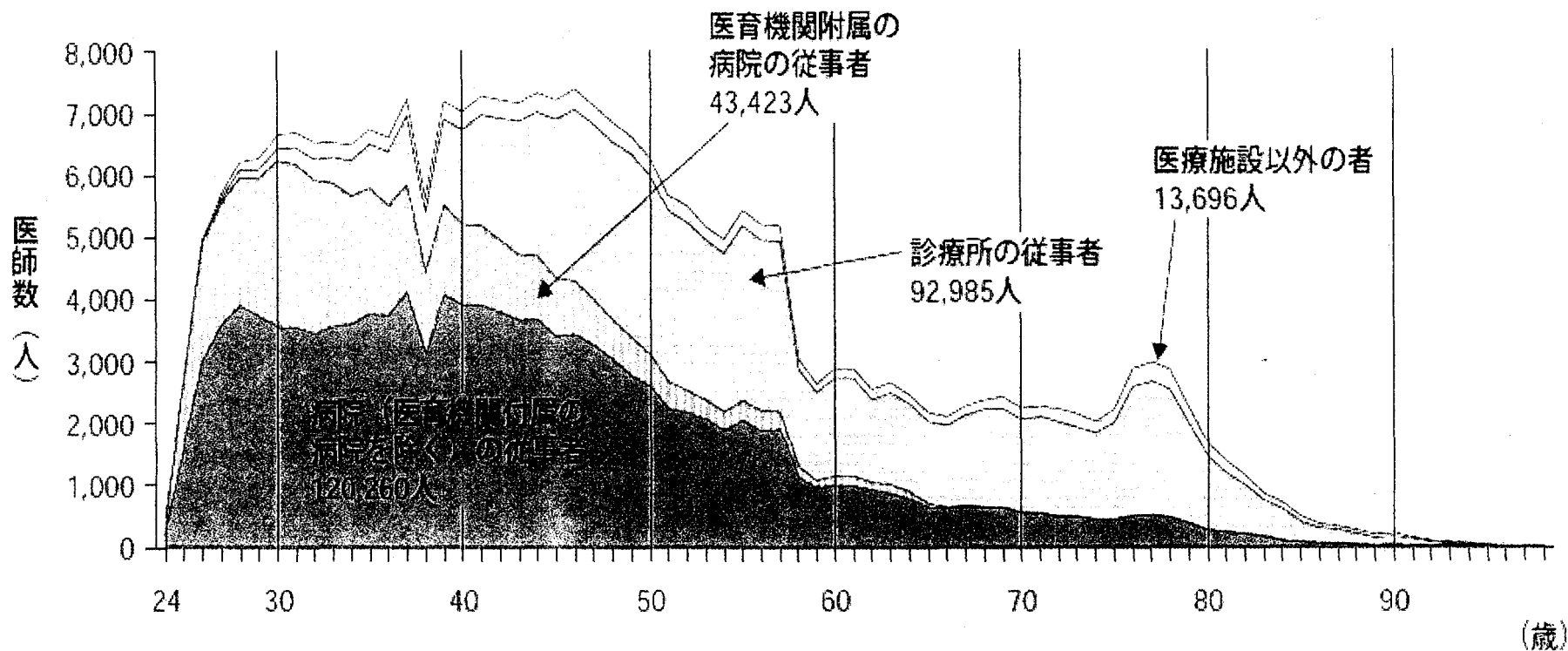
平成18年 診療実日数(1ヶ月当たり診療を受けた日数)



社会医療診療行為別調査、将来推計人口

# 医師も高齢化が進む

## 医師の年齢階級別分布(2004年)

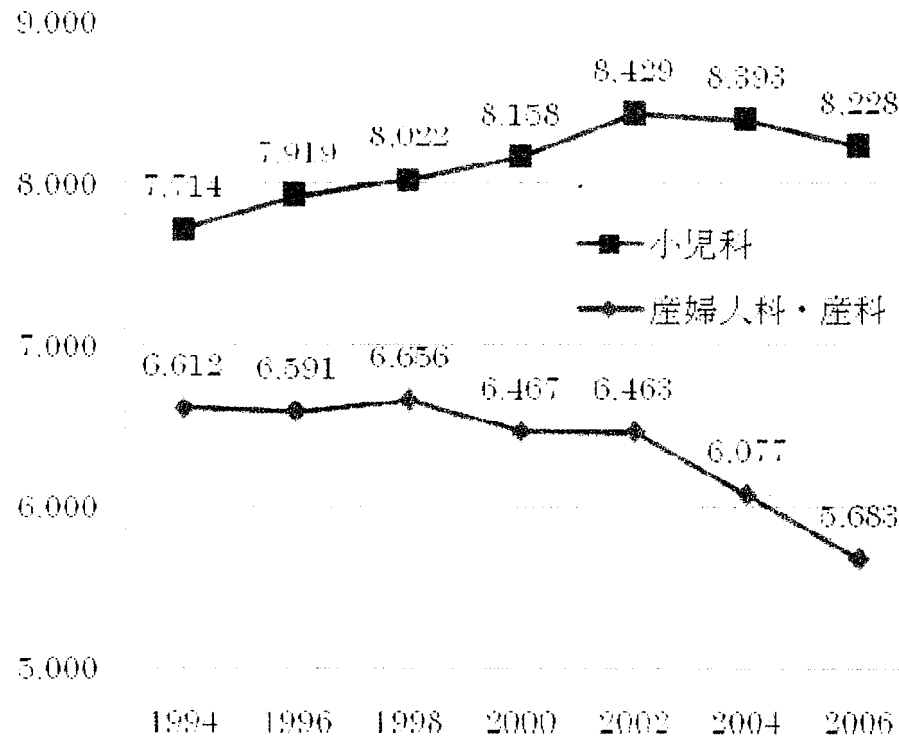


資料： 厚生労働省大臣官房統計情報部「医師・歯科医師・薬剤師調査」（2004年）

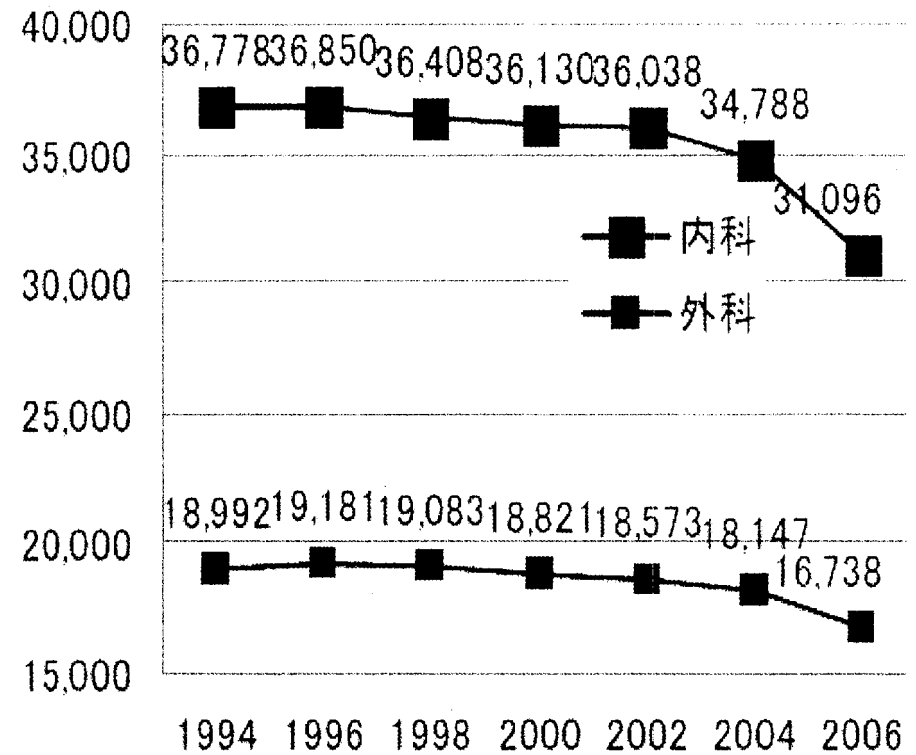
平成19年厚生労働白書

# 減少する病院医師

## 小児科、産婦人科の病院医師数



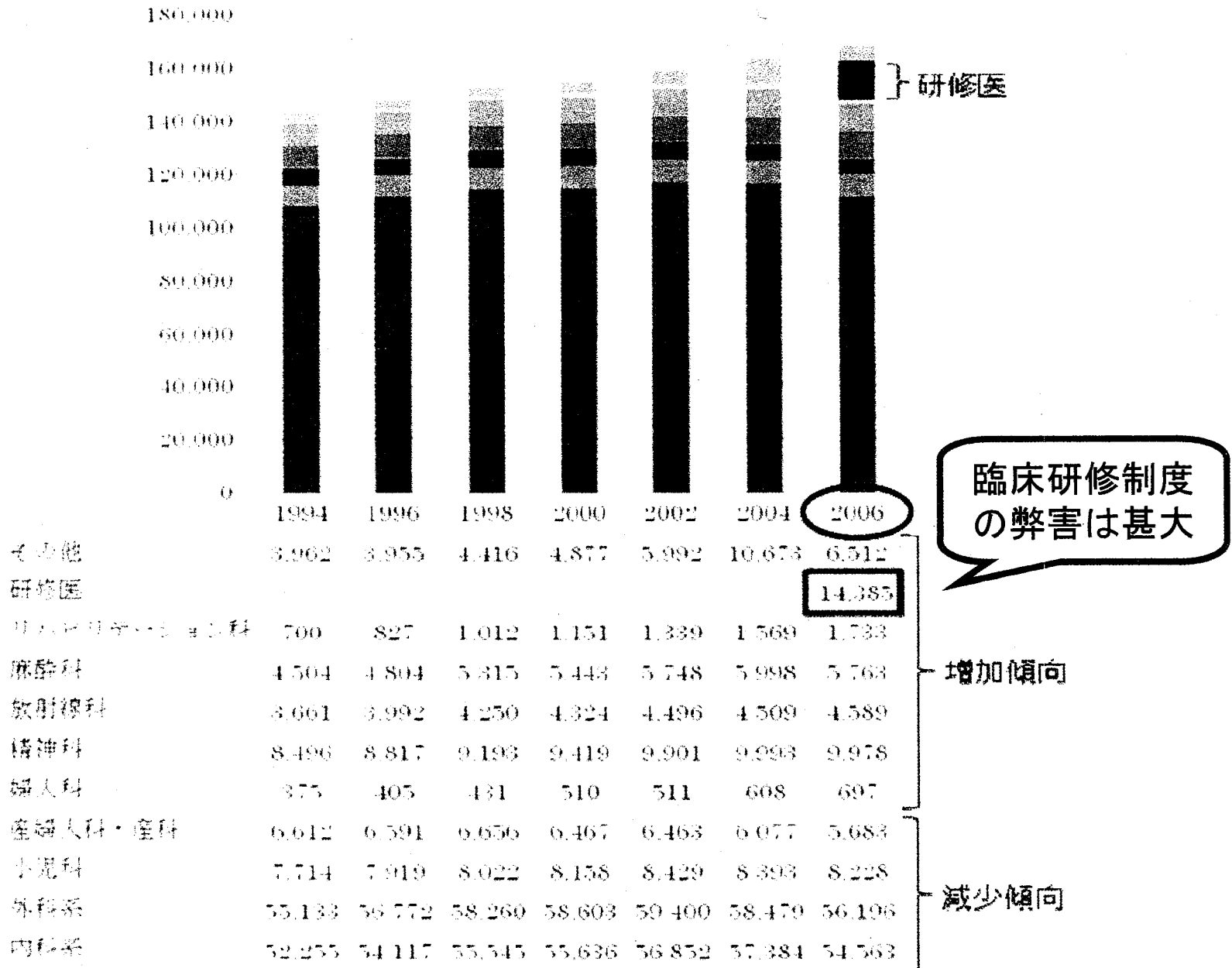
## 内科、外科の病院医師数



医師・歯科医師・薬剤師調査



# 診療科別病院医師数

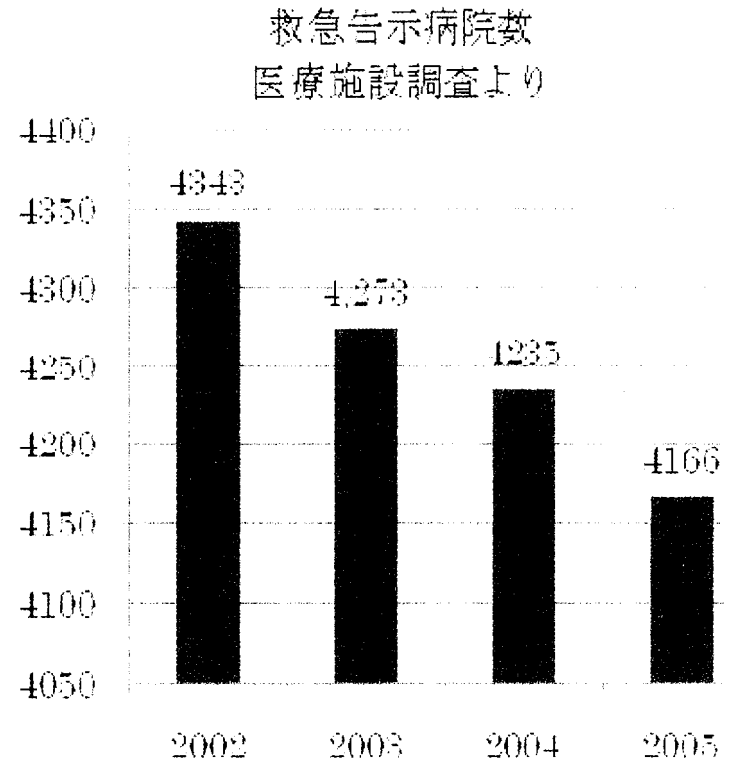
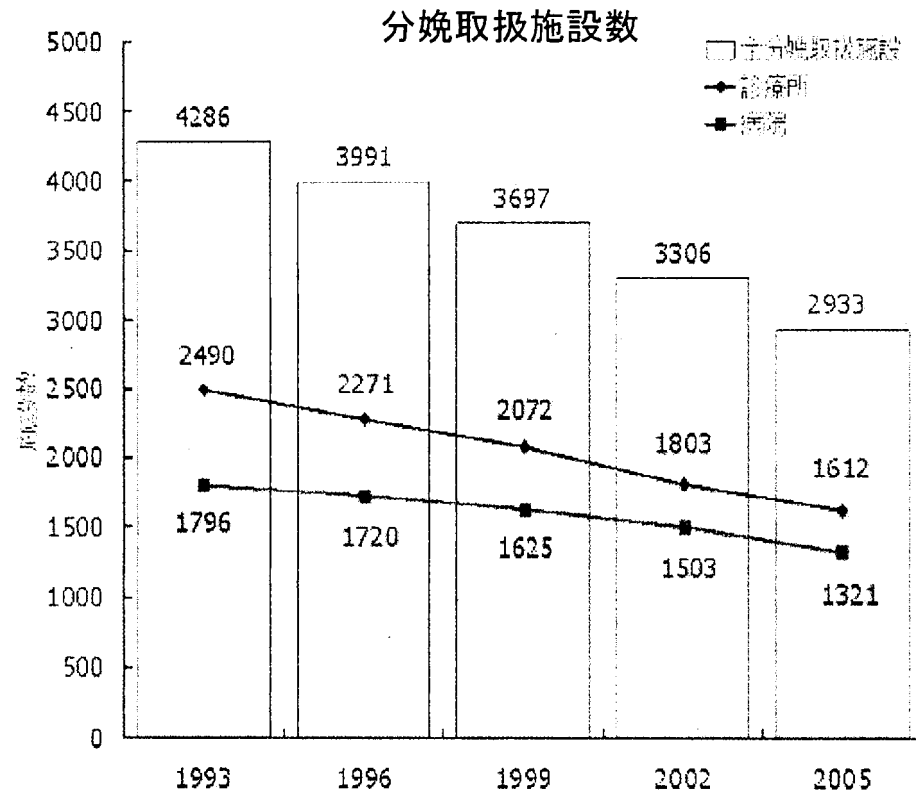


臨床研修制度の弊害は甚大

増加傾向

減少傾向

# 減少する分娩取扱施設、救急病院

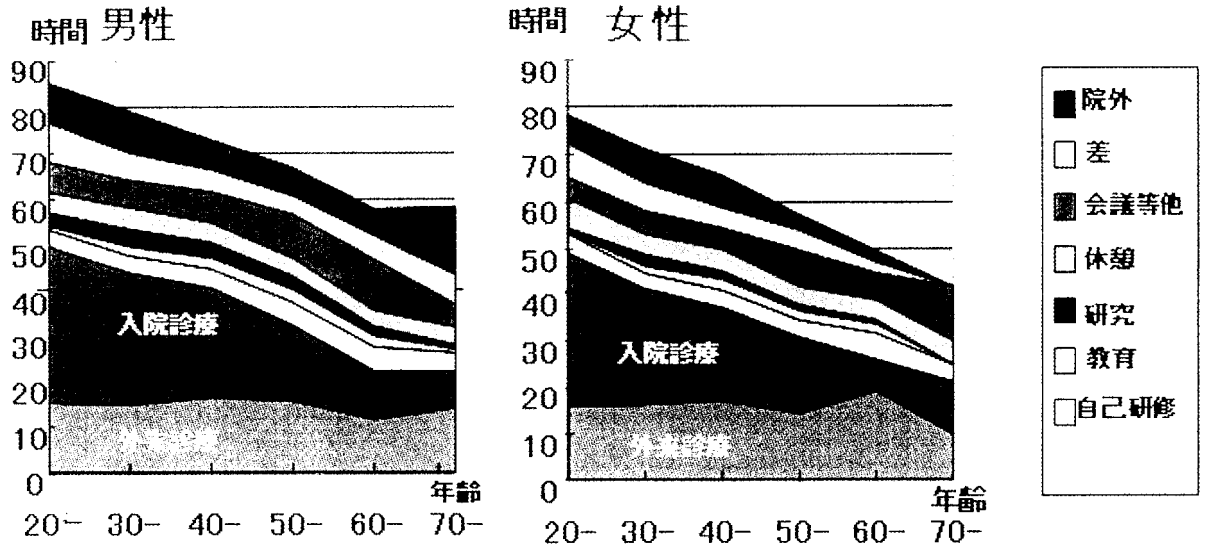


医療施設静態調査および日本産婦人科学会調査

# 医師の勤務時間

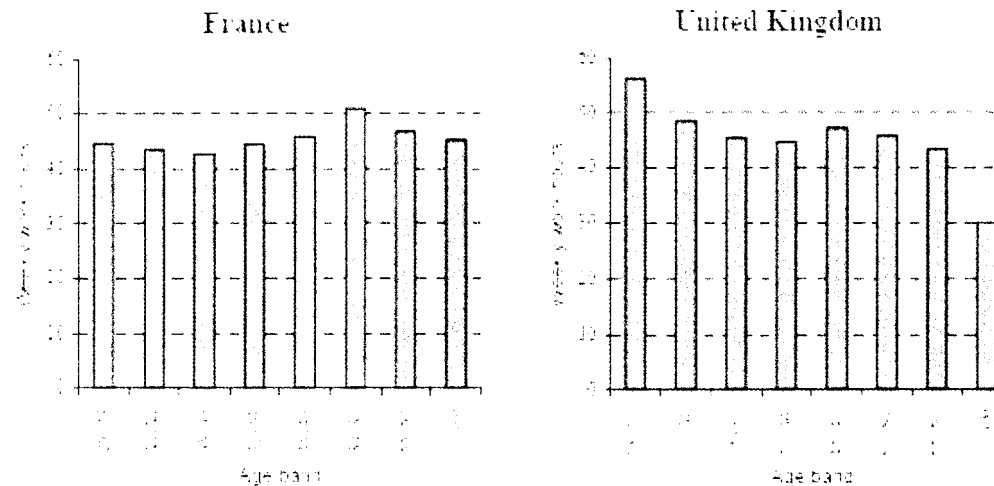
日本 40~85時間程度

病院医師勤務時間  
1週間平均、年齢別、性別、常勤



厚生労働省第12回医師の需給に関する検討会

ヨーロッパ 30~50時間程度



OECD Health Working Papers  
The Supply of Physician Services  
In OECD Countries